長野高専環境都市工学科による　上原温水路（わっぱらおんすいろ）の測量・調査

1　2017年（平成29年）11月11日（土曜日）【月曜日休刊】　第21265号

大糸タイムス

大町　長野高専生徒が測量実習

希少温水路で現場学ぶ

国立長野高専環境都市工学科３年生の学生たちが、測量や調査などの専門技術を学び、将来の職業を考える機会として、**平成29年11月9日大町市の上原温水路（わっぱらおんすいろ　通称　ぬるめ）を測量、調査しました。**この取り組みは、国立長野高専、一般社団法人長野県測量設計業協会、土木・環境しなの技術支援センターの共同で行う現場授業、今年で５回目になり、中信地区では２回目の実施となりました。

当日はまず大町市役所会議室で「上原温水路開設の歴史」を大町市土地改良区の宮坂事務局長さんから講義をして頂きました。

その後現地へ行き、６班に分かれて、測量協会の技術者の指導にもとづき、温水路の測量に取り組みました。天候にも恵まれ、紅葉と雪を抱いた山を見ながら作業は順調に行うことが出来ました。上原温水路は、山岳地を水源とする用水が冷たいため、水温を上昇させるための水路です。　全国的にも数がすくない水利施設で、農業水利の歴史を刻む農業土木遺産でもあります。長野県では軽井沢町の御影用水の温水路も知られています。　普段は水が流れ、憩いの場や夏場は子供たちの水遊びの場にもなっている温水路、水路はどのような大きさ、勾配になっているかなどを測量によって調べ、測量図は全体に合致され、今後はどのように水温が上昇するのかなどを報告書にまとめます。

授業は最後に大町温泉郷にある多目的ホールで各班から、今日の作業成果の発表を行い、実際の構造物を測量できた慶びなどの感想発表もありました。指導した測量設計業協会の技術者の皆さんからは、様々な仕事の基礎となる測量の重要性を感じてほしいと講評がありました。また、当日は県の大町建設事務所の方にも作業をみて頂き、先輩の技術者から後輩へ激励を頂きました。今回の作業では、大町市役所、土地改良区の皆様には大変お世話になりました。　改めて御礼申し上げます。

※上原温水路の概要は長野県北アルプス振興局農地整備課の HP をご覧下さい。

◇発行　　土木・環境しなの技術支援センター（理事長　小西純一信大名誉教授）
電話　：090-7175-5003　　E-mail：yama3417@mx2.avis.ne.jp